

令和7年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	風しん感染予防対策				事業番号	011-232	
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
			無	取組	—			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 26 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	・妊娠を希望する女性及びその同居者、妊婦の同居者 ・昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性101,943人（R6年5月22日現在）				対象数	単位
						—	人
7	事業の目的	・妊娠を希望する者等に対して風しん予防接種費用の助成を行うことで、妊娠初期の女性の風しんの罹患を予防し、出生児の先天性風しん症候群の発生を防止することを目的とする。また、単に全例の費用補助を行うのではなく、接種前に風しん抗体検査を経ることにより、予防接種の必要性の低い方への予防接種による健康被害のリスクを回避するとともに、費用助成にかかる経費の軽減を目的とする。 ・抗体保有率を上げ、集団免疫を獲得することを目的として、抗体保有率の低い世代である昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を対象に、風しんの抗体検査及び風しん第5期予防接種（抗体が基準値に満たない者のみ）を実施する。					
8	事業内容	【妊娠を希望する女性等が対象の事業】 妊娠を希望する女性、その同居者、あるいは妊婦の同居者を対象に、風しんの抗体価が低い者を抽出するための抗体検査を受検者の自己負担無く保健センターにて実施する。 また、抗体検査の結果、抗体価の低い者に対し、医療機関で実施する予防接種費用の一部を助成する。 【特定の世代の男性に対する追加的対策】 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性は、幼少期に風しんの予防接種を定期接種として公費負担で受ける機会がなく、抗体保有率の低い世代である。 その方々を対象に、協力医療機関等での抗体検査を全額公費負担で実施する。また、抗体検査の結果、抗体価の低い者に対しては、予防接種費用も全額公費負担とする。事業開始当初は平成31年2月から令和4年3月31日までの時限的措置とされていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響もあり受検者数が国の目標を大きく下回ったため、令和7年3月31日まで延長されることとなった。 対象が働き盛りの世代であることをふまえ、国が公益社団法人日本医師会や国民健康保険団体連合会との調整を行い、全国の市町村、地方医師会がそれぞれ上位組織へ委任をした上で全国知事会と日本医師会が契約を締結することで、対象者の住所に関わらず抗体検査と予防接種の費用を公費で負担できることとした。 これにより、対象者は居住自治体から発行されるクーポン券を利用することで、対象の医療機関であれば全国どこでも受診できるほか、職場の健康診断の機会に合わせて抗体検査を受けることが可能である。 ※国・府の基準より上回って実施した内容					
9	主な支出先	一般社団法人 堺市医師会ほか、妊娠を希望する女性等					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	風しん患者発生件数	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0		
			達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		風しんの患者発生を防ぐことが事業目的であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		風しんの患者発生をゼロにすることを目標とする。					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	風しん予防接種費用助成件数	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	1,600	1,700	1,300	
			実績値	1,766	1,956		
			達成率	110%	115%		
当該指標を選定した理由		被接種者数の増加がすなわち抗体保有者の増加であるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		実績及び実績見込みを参考に目標値を設定（令和6年度までで終了した一部事業を加味して算出）。					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	風しん感染予防対策	事業番号	011-232
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	2,574	25,118	66,999	51,545	55,548
	国支出金	1,256	5,947	24,490	18,602	19,466
	府支出金	0	6,029	5,553	4,259	5,913
	市債	0	0	0		0
	その他（ ）	0	0	0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	1,318	13,142	36,956	28,684	30,169
14	人件費（b）	16,400	16,200	16,200	16,200	16,800
15	年間経費（c）=(a)+(b)	18,974	41,318	83,199	67,745	72,348

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	決算				R6	決算		
16	風しん予防接種委託料	R6	決算	36,976	19,488	手数料	R6	決算	249	133
		R7	予算	39,134	20,352		R7	予算	361	190
	郵便料	R6	決算	7,641	3,831	印刷製本費	R6	決算	83	83
		R7	予算	8,630	4,320		R7	予算	95	95
	風しんクーポン券電算事後処理	R6	決算	2,567	1,284		R6	決算		
		R7	予算	3,586	1,793		R7	予算		
	消耗品費	R6	決算	3,701	3,701		R6	決算		
		R7	予算	3,095	3,095		R7	予算		
	風しん予防接種費用助成	R6	決算	328	164		R6	決算		
		R7	予算	647	324		R7	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 風しん予防接種費用助成	件	1,766	1,956
	② 上記①にかかる年間経費	千円	12,471	10,517
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	7,062	5,377
算出についての説明等		②は風しん予防接種費用助成にかかる委託料と助成金の合計		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	成果指標・活動指標において目標値を達成した。年間経費は使用されるワクチンの種類（MRワクチン、風しん単抗原ワクチン）の各市場価格、使用割合によって左右される。令和6年度については、前年度と比較し、ワクチンの価格が下がったことに加え、定期接種で基本とされるMRワクチンの出荷制限が起こったことにより、比較的安価な風しん単抗原ワクチンの接種割合が高まったことが費用対効果が高まった主要因となっている。また、予防接種要件に抗体価の基準を設けていることで、真に必要性がある方へ費用助成を行うことができ、さらに費用対効果を高めている。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	風しんの予防接種では、1回の接種でおおむね95%以上の人が抗体を獲得すると言われている。 積極的勧奨を行い、風しんの抗体検査を実施し抗体価の低い市民をワクチン接種につなげていくことで、確実に抗体保有率を上昇させることができるため、風しんの感染予防に直接的に寄与している。
----	--